

日本バイオマス発電事業会議

Japan Biomass Power Market

18 - 21 May 2015, Tokyo



CORPORATE SPONSOR



CO-HOST



ORGANISED BY



www.cmtevents.com

第1日目 - [2015年5月18日 - 月曜日]

別途ご予約が必要です

全日会議前ワークショップ
(午前9時～午後5時)

混合燃焼発電および専用発電における バイオマスの適用

ワークショップの概要:

1. バイオエネルギーと混合燃焼とは
2. バイオマス混合燃焼およびバイオマス専用発電における技術的問題点と解決法
3. バイオマス混合燃焼および専用発電におけるスマート・アプローチの選択
4. 事例: PH インフラストラクチャーにおけるバイオマス適用のラボスケールおよびフルスケール調査

ワークショップの開催・設備提供はバイオマスの専門家、オランダ・エネルギー研究財団(ENC)によるものです

このワークショップの目的:

現状での(および次世代での)石炭火力発電インフラストラクチャーにおけるバイオマス混合燃焼の抱える問題点とその解決策について、技術経営的なディスカッションを行うこと。

このワークショップへの参加推奨者
(ターゲットとなる視聴者):

プラントオペレーター、ボイラーおよび燃焼技術提供者、バイオマス製造業者、バイオマス加工者、バイオマス使用者、電力会社、産業エネルギー・プラントオペレーター、バイオマス原料供給専門家、コンサルティング・エンジニア、保険会社、リサーチ施設など。

第2日目 - [2015年5月19日 - 火曜日]

08:00 受付・コーヒー

09:00 司会者あいさつ
Indufor Asia Pacific Ltd
バイオ・ソリューション・シニアコンサルタント:
Mr. Matt Boveland

09:10 日本における再生可能物への規制: バイオマスやその他の太陽熱の代替物
- 法的規制枠は持続可能か?
- 現在に至るまでの日本の経験
- 将来への展望
ホワイト & ケース法律事務所
シニアカウンセラー: Mr. Arthur Mitchell

09:40 日本のウッドチップ市場と展望 - 日本におけるバイオマス市場の最新情報
日本製紙連合会
上川潔常務理事

10:10 発電産業における日本のバイオマスの可能性
住友商事
バイオマス・ビジネス・チーム: 草野善信本部長

10:40 ディスカッションの後、ネットワーキングと軽食

11:20 2015年以降: 日本のバイオマス輸入の必要性
- 2015年の日本: プロジェクトと資源
- バイオマスの輸入: 理想・計画と現実
- バイオマスの供給: 日本の需要を満たす
戦略
Indufor Asia Pacific Ltd
バイオ・ソリューション・シニアコンサルタント:
Mr. Matt Boveland

11:55 日本国内でのバイオマスの入手可能性 - エネルギー/発電のための国産バイオマス供給の発達
(林業、パルプおよび紙製造業などからの供給)
バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)
理事長: 泊みゆき

12:30 ディスカッションの後、昼食

14:00 午後の部議長
三菱UFJリサーチ & コンサルティング
相川高信主任研究員

14:05 国際市場におけるバイオマスの需要供給 - プロカーと貿易業者の観点から
PVMオイル・アソシエーツ(PVM Oil Associates Ltd.) - ロンドン
取締役: Cindy Dawes

Nollen グループ
ポール・セルダース

14:30 2020年の日本に向けたソフトエネルギー革命



Spanner KK
代表取締役: Dr. Oskar Bartenstein

15:00 ディスカッションの後、ネットワーキングと軽食

15:30 ブラックペレットの商業化 - 日本事業における石炭の費用効果的な交換
双日株式会社
エネルギー事業第二部
上級主任 池田晋太郎

16:00 FESCO バイオマス発電所の稼働最新情報
株式会社ファーストエスコ(FESCO)
技術統括部: 森 広器

16:30 バイオマスの対日輸入において、日本の総合商社が果たす役割
伊藤忠商事株式会社
ソーラー・環境ビジネス室
板橋智行室長代行

17:00 ディスカッションの後、第1日目終了

17:15 - 18:30
発表者および代表者対象のネットワーキング食事会

第3日目 - [2015年5月20日 - 水曜日]

08:30 司会者あいさつ
Spanner KK
代表取締役: Dr. Oskar Bartenstein

08:35 他用途のない木材を発電用バイオマス燃料として使用する事例研究
- 木質バイオマス及び森林の貢献
- バイオマス・ベース電力の新エネルギー
- 自治体の貢献
- 経済的影響
- バイオマス・ベース発電の問題点
- 将来の可能性
グリーンサマル株式会社
代表取締役 滝澤誠

09:05 日本におけるエネルギー成長の発達および経済への廃棄物の利用
エネルギーワン株式会社
法律顧問マイケル・バイク氏

09:30 ダイレクト・バイオマスの間接同時焼成の利点
オランダ・エネルギー研究財団(ECN)
バイオマス&エネルギー効率ビジネス・デベロップ
パー: Edze Diemer

10:00 ディスカッションの後、ネットワーキングと軽食

日本への有力なバイオマス供給の評価

10:30 木材ペレットやその他のバイオマス輸入に関する日本の必要条件の仕様検討と問題点
コントロール・ユニオン・サーティファイケーションズ
韓国
シウ・ホン・リー代表取締役: Siu Hong Lee

11:00 日本における黒ペレットと石炭の混合燃焼
Zilkha バイオマス・エナジー
ビジネス・デベロップメント
ラリー・ウェイク副社長

日本バイオマス発電事業会議

Japan Biomass Power Market

18 – 21 May 2015, Tokyo

CORPORATE SPONSOR



CO-HOST

ENERONE

ORGANISED BY



www.cmtevents.com

- 11:30 より良いバイオ燃料獲得に見られる傾向
 - エネルギー濃度を上げ、湿気を取り除くことによる付加価値
 - ヒート・テクノロジーの経済学: 発熱量対コスト
 - 高品質なペレット加工機械装置の供給
 - 木材バイオマスのペレット加工対非木材バイオマスのペレット加工
 グローバル・グリーン・シナジー
ジョセフ・リム・ヘン・イー代表取締役
- 12:00 日本におけるサステナビリティ証書に関する提案
イクマンパルプアンドペーパー株式会社
上田きよかず管理部長
- 12:30 ディスカッションの後、閉会を兼ねた昼食会
- 13:45 本会議終了; 会議後ワークショップは午後2時から

- 15:00 日本におけるバイオマス・プロジェクト
 - バイオマス発電プロジェクトへの海外投資や木材ペレット輸入に関する必要条件
 - バイオマス発電所建設に関する法規制
 - 海外投資家に向けた投資構造
 長島・大野・常松法律事務所
パートナー 本田圭
- 16:30 キリンビール・ポートレストランへと移動 (バス)
- 18:00 バーベキュー・ディナーおよびキリンビール
- 20:00 夕食会終了 ヒルトン東京へ向けて出発

団体参加者特別昼餐およびカクテルなどへのスポンサーとしてご協力いただける絶好の機会です。展示およびカタログ掲載もご要望に合わせて可能です。
今すぐ fiona@cmtevents.com または +65 6346 9138 までご連絡ください。

免責事項

CMT にとって制御不能な理由により、会議の内容や日時または開催場所の変更が起こる場合があります。CMT はいかなる混乱や補償請求に対しても一切の責任を負いません。また、このような変更が起こった場合は、CMT の通常のキャンセル条項が適用されます。

3 Ways To Register

Online: www.cmtevents.com
Email: hafizah@cmtevents.com
Tel: (65) 6346 9218

別途ご予約が必要です

2015年5月20日
会議後ワークショップおよび夕食会
日本のバイオマス発電事業における
ビジネス参加
(午後2時～9時)

- 14:00 日本のFIT 計画および日本でのビジネス参加
 - ビジネス文化—日本の規制機関 (政府) やビジネス界とのやり取りの仕方
 - 日本の基本的な法規—契約等
 - 日本の固定価格買取制度の概要—最新の発展を含む
 長島・大野・常松法律事務所
アソシエイト 藤原祥史

第4日目 - [2015年5月21日 - 木曜日]

別途ご予約が必要です

バイオマス発電見学 中部電力碧南火力発電所

全日かけて日本を体験していただく旅です
(午前7時～午後7時、バスおよび新幹線)

- 07:00-11:00 ヒルトン東京出発 (バスおよび新幹線)
- 11:00-13:30 中部電力碧南火力発電所到着、説明会および工場見学ツアー (バイオマス取扱施設を含む)
- 13:30-15:30 名古屋へ出発、昼食 (バス)
- 15:30-19:00 帰途 ヒルトン東京へ (バスおよび新幹線)

Date	Activities	Fee (per person)	Bundle Fee (per person)
18 May	Pre-Conference Workshop ^ ^ <i>Biomass Application in Co-Firing & Dedicated Power Generation</i>	USD895	Pre- Conference Workshop + Conference + Post- Conference Workshop + Site Visit USD2,885 (Save Up to USD1,195 per person)
19-20 May	Main Conference	Regular Fee - USD1,895 Group Fee - USD1,395* <small>* 3 or more from same co.</small>	
20 May (PM)	Post-Conference Workshop ^ ^ <i>Doing Business in Japan's Biomass Power Sector</i>	USD495	
21 May	Site Visit Chubu Electric's Hekinan Thermal Power Station	USD795	
^ ^ Open to Conference Attendees Only			

Program details published herein are confirmed as at 12/05/2015.
Please visit <http://www.cmtevents.com/main.aspx?ev=150514> for latest information on speakers & topics.